

第 98 号
2019 年 (令和元年)
11 月

たけはら

市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

特集	2
決算審査	4
採決の結果	6
主な議案	7
一般質問	9
所管事務調査	12

特集

竹原を
行きたいまち
住みたいまちに

第1回

高校生
and
市議会



▲竹原高校・忠海高校の生徒のみなさん

特集

第1回
高校生
and
市議会

おいしい！竹原

歩道の狭いところがある。外灯が少ない。

海周辺が整備されていない。

若者が行くようなお店が少ない。

忠海駅前にもっと店があって欲しい。

JR・交通が不便。

東広島の大学に通いやすいようにすると良い。

竹原自慢

じゃがいも、たけのこ、ぶどうがおいしい。

買い物施設がある程度揃っている。

元気なお年寄りが多い。

海がきれい。どこから見ても山がある。

大久野島のウサギ。

昔ながらの飲食店がおいしい。

町並み保存地区が日本遺産になった。

竹原に行きたいまちに住みたいまちに

当委員会は、これまで市民のみなさんを取材した特集ページを企画するなど、活動範囲を広報・広聴に徐々に広げてまいりました。今回、若い世代の生の声を聞くため、高校生を初めて議会に迎えてグループワークを実施しました。



もっと良いところを伸ばすためには、#でSNSなどを使ってひろめていくことや、学校でPRしたりひろめたりしていくことが良いと思います。主には、若者を中心としてまちづくりを進めていくことが大切です。私も今日帰ったら#を使って「がんばろう竹原」で広めていきたいと思えます。

A班

発表者
橘さん



Aグループ

Aグループ



B班
 発表者
 手島さん

「自然と産業」

対策

ネット、SNS、
#で発信する。

地元の食材を
利用した料理を
提供する。

大久野島だけ
でなく町並みも
観光してもらう。

地域全体でボランテ
ィアを行い、産業と
自然の調和を図る。

東広島へのバスを
増便する。

撮影スポットを
作って、町並みを
もっとPRする。

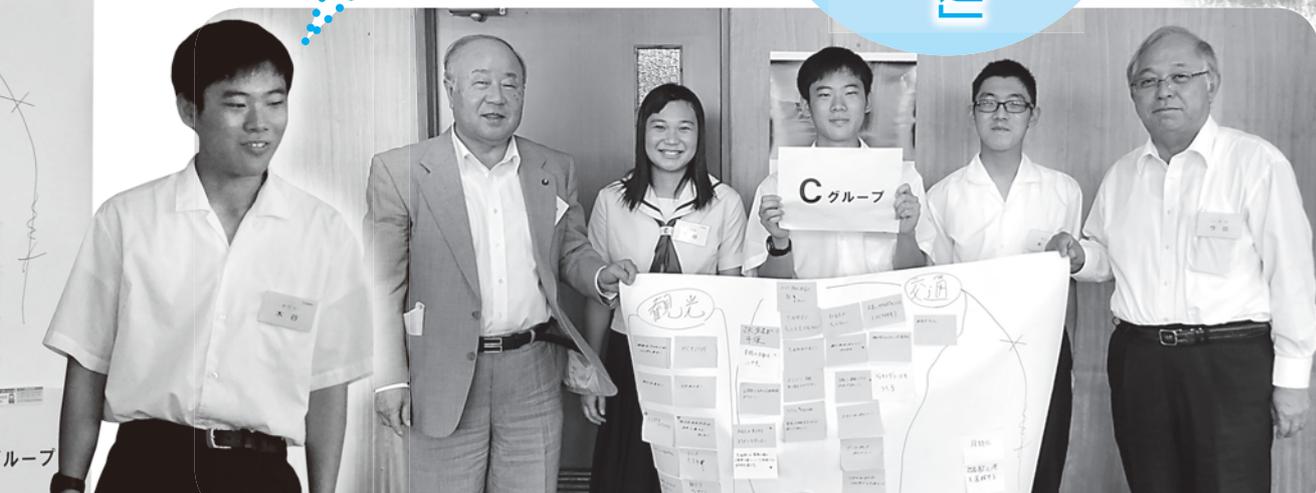
道の駅や首都圏など
でPRする。

竹原の自慢できるところを話し
た時に、自然のことが多く出まし
た。
住みやすい竹原、行きたい竹原
にするためには、産業も発展させ
ていかないといけないけど、今あ
る自然を地域の人たちが守ってい
かないと、今ある竹原が壊れてし
まいます。
自然をみんなで守りながら産業
を発展させていきたいと思いま
す。

大久野島に観光に来る人がそ
のまま三原の方に帰ってしまう
ので、竹原市内の観光名所をも
っと知ってもらう必要があるの
ではないかと思いました。
竹原市に住んだまま東広島市
の大学に通えるようになればい
いです。
竹原市はいい町だと思うので、
そのいいところをうまく活かせる
ように課題を徐々に解決してい
けたらいいのではないかと思
います。

C班
 発表者
 木谷さん

「観光と交通」



定！

委員長 堀越 賢二 副委員長 山元 経穂

■一般会計（議案第54号）

●歳入決算額…144億4,353万円

主なもの	収入済額	前年比
市 税	38億810万8千円	1.7%減
地方交付税	29億5,237万6千円	15.1%増

●歳出決算額…141億4,649万9千円

主なもの	支出済額	前年比	主な要因
民 生 費	53億6,767万3千円	15.4%増	災害救助費の増加など
農林水産業費	7億6,399万円	74%増	強い農業づくり交付金の増加など
商 工 費	4億2,160万4千円	7%減	中小企業融資制度預託金の貸付金の減少など
土 木 費	12億6,049万円	6.2%増	こども園整備事業の増加など
教 育 費	8億1,945万8千円	36.6%減	吉名中学校区小中一貫校施設整備事業などの減少
災害復旧費	14億4,161万5千円	3,913.5%増	平成30年7月豪雨災害復旧事業の増加

※歳入・歳出差引差額は2億9,703万1千円の黒字
 ※翌年度に繰り越すべき財源1億6,506万4千円を差し引いた1億3,196万7千円の黒字

●審査スケジュール

- 9/11 正副委員長互選
日程・資料要求等
- 9/24 詳細審査
総務企画部・教育委員会等
- 9/25 詳細審査
地域振興部・市民生活部
- 9/26 詳細審査
福祉部・建設部
- 9/27 全体審査・討論・採決

審査の様子は動画でみる事ができます！



■特別会計（7会計）（議案第54号）

●歳入決算額…80億4,709万8千円 ●歳出決算額…79億8,309万4千円

■水道事業会計（議案第55号）

●収益的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差 引
税 込 額	9億4,158万4千円	7億9,023万9千円	1億5,134万5千円
税 抜 額	8億7,557万7千円	7億3,857万8千円	1億3,699万9千円

●資本的収入及び支出

	収入総額	支出総額	差 引
税 込 額	2,659万7千円	2億7,736万円	2億5,076万3千円の不足

※この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額・過年度分損益勘定留保資金・当年度分損益勘定留保資金・減債積立金で補填

①市税を含む歳入確保

●人口減少に伴う減収傾向の中において、監査委員からの指摘にあるように、効率的な滞納整理などによる**収納率の向上**を図り、債権の確保に努めること



本委員会は、議長・監査委員を除く12名で構成される特別委員会として設置され、平成30年度決算認定の2議案の付託を受け、部ごとの詳細審査・市長の出席を得ての総括質疑を行うなど計5回にわたり委員会を開催しました。

審査の過程において委員各位から指摘・要望及び意見が述べられており、これらの点を含め今後の行政執行の上で留意され、改善を図られるよう要望すると共に、新年度予算編成においても十分に反映されることを要請し、決算特別委員会の委員長報告としました。

平成 30 年度決算 賛成多数で認

②委託料(指定管理含)・団体補助金の支出

- 実績報告書や補助対象団体の決算資料等により運営状況を十分精査の上、公共施設の積極的な利活用等による経費削減を図るなど**事務事業の効率化**を進め、支出の適正化に努めること



④地域公共交通

- 高齢者や交通弱者に対する役割を十分に認識し、そのあり方を検討していくことが重要であることから、**利用状況や利用者のニーズを的確に把握・分析**し、今後における適切な計画策定とその着実な実施に努めること



⑥農業振興

- 若い担い手の育成や、新規就農者への積極的な支援などの**受け入れ体制の構築**を図ること
- 市外からの新規就農者の移住は、農業振興のみならず人口減少対策・定住促進・地域振興・空き家対策にも相乗効果を与えるものでもあることから、**攻めの施策**を検討していくこと



⑧子育て世帯向け地域優良賃貸住宅の運営

- 概ね所期の目標を達成している状況にあるが、事業の性質上、恒常的に入退居が生じるものであることから、今後とも**入居促進に努める**ことはもとより、退去に際するサポートにも力を入れていくこと



③道路・河川等の整備事業

- 河川に堆積している土砂の浚渫を、国・県との連携の下、**早期に着手**するよう努めること
- 強靱化に向けた公共土木施設の構築を始めとした**災害に強いまちづくり**の推進を図っていくこと



⑤保健衛生

- がん検診受診率の向上**が健康寿命の延伸に有効であり、医療費の削減にも大きく貢献できるものであることから、更なる啓発活動を推進していくこと



⑦樋門維持管理

- 雨期前には管理者と連携し**点検を徹底**すること
- 老朽化した施設の点検及び機能回復に努め、保全を図ること



⑨公有財産管理

- 既存施設のあり方や管理手法を見直すとともに、用途廃止された施設等の遊休資産について積極的な利活用を図るなど、**効率的・効果的な財政運営**に努めること



議案第 54 号

反対討論

自治体の仕事は、住民の福祉の増進を図ることです。滞納者の年間所得 100 万円未満は国保税で約 60%、固定資産税で約 79% 等々生活保護基準額以下の生活です。

教職員の長時間勤務の抜本的な解消はされていません。巨額な新開土地区画整理事業は、竹原市人口減少防止の施策とは言えません。部落差別の事件は 2018 年度 0 件、隣保館等の運営事業など特別扱いはやめるべきです。

市職員の勤務条件では過労死ライン等の長時間残業が常態化しており改善を強く求めます。

松本 進

賛成討論

現在、厳しい状況下にある本市の財政ではありますが、国が財政健全化法で公表が義務付けられている指標は国の定めた基準内にあります。

本市においては、今後とも、行財政改革の推進により安定した市政の実現を図るとともに、この度の決算特別委員会でご委員によって指摘、要望及び提言された的確なものにおいては、これからの市政に活かし、より公共の福祉の向上に努められる事を期して賛成の討論と致します。

山元 経穂

● 令和元年第3回定例会 議案概要・採決結果

令和元年9月10日～令和元年9月30日

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	下垣内	今田	竹橋	山元	高重	堀越	川本	井上	大川	道法	宮原	吉田	宇野	松本	議決結果	
報告第8号	平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、議会に報告するもの	省略	—	—	—	—	—	—	—	—	議長	—	—	—	—	—	原案報告	
議案第42号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員のうち原田千鳥委員は令和元年12月31日をもって任期満了につき、その後任委員に同氏を推薦しようとするもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第43号	道の駅たけはらの指定管理者の指定について	道の駅たけはらの指定管理者を指定するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	原案可決	
議案第44号	竹原市立認定こども園設置及び管理条例案	竹原西保育所、中通保育所及び竹原西幼稚園を統合し、新たに幼保連携型認定こども園を設置するとともに、竹原保育所及び吉名保育所を保育所型認定こども園として設置するもの	修正案	—	○	○	×	×	○	○	×	×	議長	○	×	○	○	×	修正案可決
			修正部分を除く原案	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○
議案第45号	竹原市下水道事業の設置等に関する条例案	下水道事業に地方公営企業法の財務規定を適用するにあたり、必要な事項を定めるもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	原案可決	
議案第46号	竹原市立幼稚園設置及び管理条例の一部を改正する条例案	子ども・子育て支援法施行令の一部が改正されたことに伴い、幼稚園の保育料を無償とするもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	竹原市立幼稚園設置及び管理条例を廃止する条例案	認定こども園新設に伴い、竹原西幼稚園を廃園とするとともに、現在休園中の大乗幼稚園及び竹原東幼稚園を廃園とするもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	原案可決	
議案第48号	竹原市へき地保育所条例を廃止する条例案	児童数の減少により現在休所中の仁賀保育所及び田万里保育所を廃止するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	原案可決	
議案第49号	竹原市水道事業給水条例の一部を改正する条例案	水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者の更新手数料を定めるもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第50号	災害甲慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案	災害甲慰金の支給等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、災害援護資金の貸付償還について支払猶予及び償還免除等を定めるもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第51号	竹原市印鑑条例の一部を改正する条例案	住民基本台帳法施行令が改正され、住民基本台帳に旧氏の併記が可能とされたことに伴い、印鑑登録においても旧氏を併記するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第52号	竹原市消防団条例の一部を改正する条例案	地方公務員法の改正を踏まえ、消防団員となることができない者から、成年被後見人又は被保佐人を除く等するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第53号	竹原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準が改正されたことに伴い、支給認定等に関する基準等を改めるもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	退席	原案可決
議案第54号	平成30年度竹原市歳入歳出決算認定について	地方自治法第233条第3項の規定により、平成30年度竹原市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	原案認定	
議案第55号	平成30年度竹原市水道事業決算認定について	地方公営企業法第30条第4項の規定により、平成30年度竹原市水道事業決算について、議会の認定を求めるもの	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	原案認定	
議案第56号	令和元年度竹原市一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ122,392千円を増額補正するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第57号	令和元年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1,129千円を増額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第58号	令和元年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ20,326千円を増額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
発議第1-4号	竹原市議会会議規則の一部を改正する規則案	議会だより編集委員会について、議会だよりの編集及び発行に加え、広報及び広聴に関する協議又は調整を行う場とするため、この規則案を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
発議第1-5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための令和2年度政府予算に係る意見書(案)	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	
	閉会中継続審査(調査)について(2常任委員会)	竹原市議会会議規則第111条の規定により、常任委員会委員長より申し出があったので送付するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決	

*議案第43号・第47号・第56号については7ページに、第44号については8ページに詳細を載せています。

*「総務」は総務文教委員会 「民生」は民生産業委員会 「決算」は決算特別委員会

議案第43号 「道の駅たけはら」の指定管理者の指定について



- **内容** 「いいね竹原道の駅コンソーシアム」を指定管理者とする
(期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで)
- **民生産業委員会での主な質疑**
質疑 指定管理料の積算内訳は？
答弁 公益的部分と収益的部分に按分して、公益的部分のみ積算している

討 論

● 賛成討論

(株)いいね竹原は、海の駅の指定管理者として現在も精力的に運営をされており、道の駅の売店やレストラン・観光情報センター等についても大きく期待されます。
 また、竹原の事業所が多く参入している事は非常に重要で、生まれ変わる大きなチャンスです。
 堀越 賢二

● 反対討論

公の施設の維持管理費等は市が直接に責任をもつべきです。
 指定管理者の運営では、収益第一、効率化等が優先され、結果として、設置目的・安定した市民サービスを脅かしかねないと考えます。
 松本 進

議案第47号 竹原市立幼稚園設置及び管理条例を廃止する条例案



- **内容** 認定こども園の新設に伴い統合される竹原西幼稚園を廃園にするとともに現在休園中である竹原東幼稚園及び大乘幼稚園を廃園とする
- **総務文教委員会での主な質疑**
質疑 廃園後の職員の配置は？
答弁 職員の配置については、認定こども園・吉名・竹原・東野の4園で再配置を考えていく見込みである
質疑 跡地の活用は？
答弁 地域の要望があれば適切に意見を聞きながら対応していきたい

議案第56号 令和元年度竹原市一般会計補正予算 (第2号)

122,392千円 増額補正

■ その他主な補正事業

- 国・県支出金返還金… 43,495千円
- 緊急自然災害防止対策事業 (樋門【農業用】) … 20,000千円
- 緊急自然災害防止対策事業 (河川) … 50,000千円

■ 人口ビジョン策定支援事業委託料 …… 1,500千円

- **内容** 次期総合戦略の策定に向けた人口ビジョン策定事業
質疑 委託せずに庁内で策定することができないか？
答弁 専門的な部分があり委託にするが、入札により業者を決定して、予算執行については最小限におさえていきたい

■ 朝ごはん推進モデル事業 …… 1,296千円

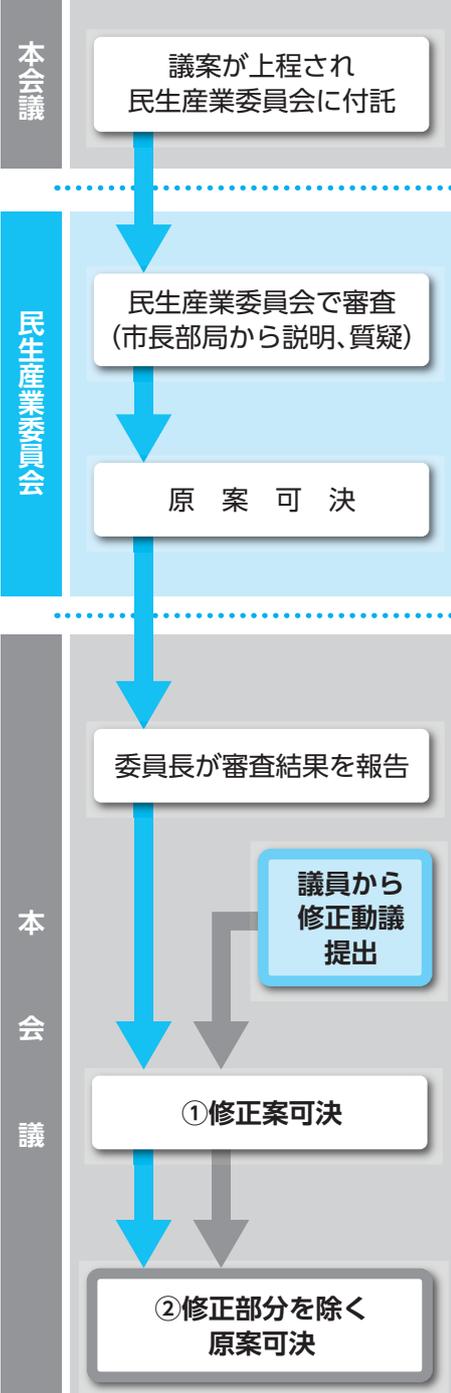
- **内容** 県のモデル事業であり、竹原西小学校で10月下旬から試験的に実施予定
- **総務文教委員会での主な質疑**
質疑 今年度のモデル事業だけを実施しようとしているのか？ 今後継続するかどうかについて慎重に検討したのか？
答弁 このモデル事業は今年度で一旦終了するが、事業の継続、実施については今回の事業の効果を検証して、他の地域の環境を考慮しながら検討していく



▲10月15日の試行の様子

議案第44号 竹原市立認定こども園設置及び管理条例案

議案審査の流れ



提案の要旨

小学校就学前の子どもに対する教育及び保育を一体的に推進するため竹原市立竹原西保育所、中通保育所及び竹原西幼稚園を統合し新たに幼保連携型認定こども園を設置するとともに竹原保育所及び吉名保育所を保育所型認定こども園に移行するもの。

●認定こども園の名称

- 竹原市立竹原市新開こども園
- 竹原市立竹原こども園
- 竹原市立吉名こども園

委員会のようす（9月13日・18日）

- 採決結果 可否同数となり委員長採決によって可決

園名の選考に際し、選考委員会における審議過程に不明な点があるとの指摘があり、関係書類の提出を求めたうえで2日間に亘り審査を行った。選考委員会に職員が加わることの是非、審議過程の進行の在り方、公募時の要件の在り方など一連の選考過程における問題点について指摘があった。また、園名の再考の質疑に対し、選定委員会の進行についてはその都度各委員に確認をとりながら気を付けながら行っており、その結果を踏まえ現行の案で進めたいとの答弁があった。

本会議のようす（9月20日）

①本会議で修正案が提出された

- 修正内容 「竹原市立竹原新開こども園」を「竹原市立たけのここども園」に改める
- 提案理由 民生産業委員会における審議の中で、こども園の園名の選考過程に問題があるとの指摘があった。園名の公募の結果は「たけのこ」が最も多かったのであって、民意を反映した園名にするべきものと考え、修正するもの。

- 採決結果 賛成7名、賛成多数可決

②修正部分を除く原案を採決し可決とした

●議案の修正ってなに？

市長から議会に、議案（条例の制定・改廃・予算を決めることなど）の提出があった場合、本会議および常任委員会等で審査し、議決を行います。議案の内容に対し、議員（委員）は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

原案に対する討論

反対

現存の竹原西保育所・中通保育所及び竹原西幼稚園の統合、幼稚園の廃止（議案47号）は就学前教育の機会選択を縮小、公共施設のコスト削減を第一義的に位置づけています。保育所の統廃合に伴う保護者、地域住民正規・非正規の保育士等々十分な合意形成がされているとは思えません。 松本 進

応募要項の内容や選考委員会における職員の人選・会議録の扱いなど、その選考過程が果たして適切に検討され選考されたものなのか。また、理事者側からの答弁に納得できる部分は少なく、選考過程を見直し再考すべきです。 堀越 賢二

賛成

この条例案は、地方自治法第244条の第2項に沿って設置及び管理に関して、第1条から第10条の条例案として策定されており、第3条のこども園の名称は、選考委員会において委員間でそれぞれの意見をしっかりと確認しながら、手順を踏んで名称を決定しております。 井上 美津子



やまもと つねお
山元 経穂

●「地方創生」における施策展開について



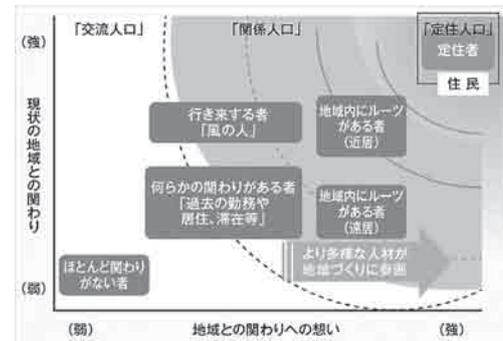
質問 第1期「地方創生」を踏まえた上で、第2期「地方創生」における施策展開について伺います。

答弁 市長 まず第1期「地方創生」における第1期総合戦略の検証と人口減少の認識でありませんが、「ひとの創生」分野での基本目標である「転出超過数」については、市外への転出者数がほぼ横ばいの状況にある一方で、転入者数は減少傾向にあり、転出超過が進んでいる状況にあります。

こうした状況の中、本市が持続可能なまちとなるためには、人口減少の緩和を図りつつ、本市の人と地域資源を活かして、賑わいと活力を維持・向上していく必要があります。

よって、第2期「地方創生」の第2期総合戦略と人口ビジョンの策定において、あらためて人口の現状や将来展望などを把握してまいります。併せて自然減や社会減の抑制など、引き続き取り組む必要がある課題については、その解決に向けての効果的な取組を検討してまいります。

また、人口減少が進行す



る中、地方創生を実現していくためには、地域外の消費拡大と地域力の向上による地域課題の解決や新たな価値の創出が重要であります。

そのため、移住・定住の裾野拡大にも繋がる、地域や地域の人々と多様に関わる者と定義される「関係人口」の創出・拡大は施策の効果期待でき、地方創生にむけた取組の有効な選択肢の一つであると認識しています。

こうしたことから、持続可能なまちづくりを推進していくため、「関係人口」の創出・拡大に繋がるような取組についても今後検討を進めてまいります。



かわもと まどか
川本 円

●子どもの貧困対策計画について ●財政健全化計画の取組状況について



質問 従来、都道府県にのみ策定が求められていた「子どもの貧困対策計画」について、新たに市町村も策定が求められることになりました。これを受け市はどのようにとらえ、今現在の進捗状況も教えてください。

答弁 市長 今回の法律の改正を踏まえると、子どもの貧困対策を総合的に推進するため、子どもの視点を第一に置いて、その生活や成長を権利として保障する観点から、成長段階に即した切れ目のない必要な施策を検討する必要があると考えられており、進捗については、本年中に国の大綱が示される県において、新たに計画の見直しが行われており、市としましては、それらを待つて計画の策定に努めていきたいと考えております。

質問 ①行政経営方針における取組みの進捗状況は。②歳出削減の計画の実行に向けての取組みと人件費の見直しの考え方は。③歳入確保に向け、遊休資産の有効活用とプロジェクトチームの動きとは。

答弁 市長 ①市民との対話機会の充実としてミライミ

ーティングの開催や、公有財産の有効活用を図るための竹原市行政財産の使用料に関する条例整備など、早期の取組が可能なものから順次取組を進めているところです。

②予算の執行段階での事務費の節減に努めるなど、決算においてその効果を達成すべく取組を行うこととしており、人件費については、今後、給与の適正化への取組を進めるとともに、更なる事務の効率化を図り、簡素で効率的な組織体制や適正な職員数を目指した取組を行うこととしております。

③遊休資産の売却については、構造物や周辺状況などの諸条件により難航しているものもあり、今後は価格の見直しを含め検討が必要であり、プロジェクトチームにおいては、公共施設の保有量の適正化に取り組みつつ、有効活用を進めてまいります。





たけのり 武則
の 宇野

● 幼児教育・子育て福祉施設の在り方と NPO 法人ふれあい館ひろしまについて



元市長小坂政司氏は就任 1 期目で進行する少子化に対応するため、施設合理化の一環として東西幼稚園合併を表明。保護者、地域住民の強い反対があり、私には厳しい選択ではあったが、将来避けて通れないものと判断し議案に賛成したのであります。少子化が一段と進行した平成 21 年、市直営で運営の 5 事業と委託費 2 千万円が突然ふれあい館へ一括委託された。

質問 当時の理事長から元市長に事業委託の要請文書が提出されているのか。

答弁 市長 保護者のニーズに応じて子育て支援施策を充実させるため、各種事業を実施しております。

質問 ふれあい館の職員数と勤務日数等は。

答弁 市長 本年 4 月現在で常勤・非常勤 14 名、アルバイト 17 名が従事しており、これらの職員の勤務日数については、週 5 日の範囲内で子どもの利用状況により配置をしている状況です。

質問 島根県智頭町の「森のようちえん まるたんぼう」では、園児達が険しい斜面を雨の日も雪の日も山

に登っていく。森へ出かけよう過ごす子どもたち自身が決める。職員は見守りに徹する。全国で数百園に広がっている。豊かな自然の中で、子育てを望む移住者の呼び水にもなっている。子どもの自主性を最大限尊重した幼児教育が中枢にあるべきと思うが。

答弁 市長 本市においても、幼児教育・保育において自然体験活動等を通じて、子どもの主体性等を早期から醸成することは重要とする自治体のネットワークに昨年度から参加しています。引き続き、幼児教育・保育の充実に努めてまいりたいと考えています。

質問 近年施設の民間委託が各市で進んでいる。理由は財政面と共に質の向上が高く評価されている。市長は民間委託のお考えは。

答弁 市長 公立私立の役割分担などを踏まえて、今後の選択肢の一つとして調査研究課題と考えています。

質問 本市の行財政改革への取組は。



いまだ よしお
今田 佳男

● 小中学校での夜間留守番電話運用について ● サテライトオフィスの誘致について ● スポーツを通じたまちづくりについて



質問 府中市教育委員会は、教職員の働き方改革の一環として、夜間の留守番電話の運用を始めるとの報道があった。竹原市の電話対応の現在の状況と今後の方針をお聞かせください。

答弁 教育長 現在のところ夜間の留守番電話の導入には至っておりません。教職員は、保護者などの問合せ等に丁寧に対応しておりますが、このことが時間外勤務の増加につながっている実態もあります。他市町の時間外削除の検証結果を参考にし、市 P T A 連合会等の意見も聞きながら、学校と教育委員会が連携し、学校の働き方改革について取り組んでまいります。

質問 サテライトオフィスの誘致を積極的に進めるお考えはないか。

答弁 市長 これまで、小売業などを対象とした空き店舗等を活用した創業支援に取り組んで、一定の成果が出ており、サテライトオフィスの誘致に向けた取組は、これらと同様に効果が見込まれると考えています。

先進地の事例を参考にしつつ、今後も検討を進めてまいります。

質問 各種競技の優秀な選手、指導者などを地域のスポーツ資源として、スポーツを通じたまちづくりを進めるお考えはないか。

答弁 市長 広島県は、「スポーツを核とした豊かな地域づくり」を基本理念に、地域・経済の活性化とともに、障害者スポーツも含めた競技力の向上などを政策目標として掲げ、今後、市町や各種団体のサポート等を行う官民連携の組織の新設も予定しています。本市が抱える地域課題の解決に向けて、障害者スポーツも含め、スポーツがどのような貢献ができるのか、調査研究してまいります。

● 府中市教育委員会が導入する留守番電話の仕組み

保護者	午後 6 時以降留守番電話	学 校
	⇔	
	時間外の緊急連絡先	教育委員会
命に関わる重大事態の場合	⇒	
	⇒	警 察



まつもと
松本

すすむ
進

●竹原市の空き家対策について
●昨年7月豪雨災害の復旧工事と
新地域防災計画



質問 ①空き家法施行による市の特定空き家認定状況と取組は。

②市の空き家実態調査では「すぐに活用が可能」は121戸、その支援策は。

答弁 市長 ①倒壊等危険性の高い空き家は、所有者等に適切な管理を働きかけており、認定した特定空家はありません。

②市外からの転入世帯の空き家改修定住支援や住宅リフォームの助成を行っています。

質問 ①市復旧等プランの進捗。業者の人手不足・復旧需要増加への支援策は。②がけ崩れ復旧工事の現状と被災者の安心・安全の確保は。

③新地域防災計画では「長期的視点で災害リスクの低い地域へ居住を誘導する」とあるが、長期的視点とは。④土砂災害警戒区域内の戸数は。

⑤8月に警戒レベル3を発令した際の避難所の状況、今後の対策は。

答弁 市長 ①公共土木施設等を令和2年度までに完全復旧させるため取組んでいます。

国県市で予定価格の引上げ、技術者の資格要件の緩和等を行い早期完了に努めています。

②人家2戸以上の19カ所うち、県が8カ所・市が9カ所採択され残り2カ所は採択要件適用外です。採択基準に満たない人家1戸は災害関連の事業実施は困難です。ハード・ソフト(危険箇所)の周知・避難体制の整備)の総合的な土砂災害対策を進めます。

③20〜30年先を想定し取組を推進してまいります。

④約3,400戸の建物があります。

⑤8月14日(警戒レベル3発令)に開設した14指定避難所の想定収容人員2,319人に対し避難者数は50人でした。自宅の安全な場所や親類・知人宅への避難も取るべき避難行動の1つであり、引き続き避難情報

の発令が住民の適切な避難行動につながるよう取り組んでまいります。



▲下野町受矢

議会のうごき

- 7月30日 総務文教委員会
- 8月2日 代表者会議
- 8月8日 民生産業委員会
- 8月9日 全員協議会
- 8月19日 議会運営委員会
- 8月22日 議会だより編集委員会
市内高校生と意見交換会
- 8月26日 広島中央環境衛生組合議会
先進地視察(〜27日)
- 8月27日 民生産業委員会
- 8月28日 愛知県春日井市議会 来市
総務文教委員会
- 8月30日 江田島市議会視察研修
- 9月4日 議会運営委員会
- 9月10日 第3回定例会(〜30日)
- 9月11日 第1回決算特別委員会
- 9月12日 総務文教委員会
- 9月13日 民生産業委員会
- 9月17日 本会議 一般質問(〜18日)
- 9月18日 民生産業委員会

- 9月20日 議会運営委員会(会期中)
- 9月24日 第2回決算特別委員会
- 9月25日 第3回決算特別委員会
- 9月26日 第4回決算特別委員会
- 9月27日 第5回決算特別委員会
- 9月30日 議会運営委員会(会期中)
民生産業委員会
- 10月2日 長野県諏訪市議会 来市
- 10月7日 富山県高岡市議会 来市
- 10月9日 広島県市議会議長会臨時会
北海道岩見沢市議会 来市
- 10月10日 徳島県神山町議会 来市
- 10月15日 民生産業委員会
- 10月16日 北海道深川市議会 来市
- 10月18日 広島県後期高齢者医療広域連合議会
定例会
- 10月21日 総務文教委員会
- 10月23日 秋田県潟上市議会 来市
- 10月24日 北海道羽幌町議会 来市

※この間、広報広聴委員会は11回開催しました。

常任委員会所管事務調査

《総務文教委員会》 10月21日

1) 竹原市公共施設白書の策定について

平成29年3月 「竹原市公共施設等総合管理計画」 策定

施設の更新、統廃合、長寿命化などを実施していく検討を進めるための基礎資料とするため、公共施設の現状を分かりやすくまとめた「竹原市公共施設白書」を作成。

今後、各施設の維持管理費の見通しや管理の方向性、施設のあり方について検討を進めながら、「個別施設計画」の策定に取り組む。



質疑 施設の統廃合を進めることで、住みにくい地域ができないか。

答弁 近隣に類似施設で代替え可能であれば統廃合が考えられるが、公共サービスを低下させないように検討する。

質疑 公園等の借地費用が多額となっているが、検討するのか。

答弁 今後借地の返還等を検討したい。

2) 文化部活動の方針について

今年4月に運動部活動の方針が制定されており、今回「運動部以外の全ての部活動」を対象として、「文化部活動の方針」が策定された。

質疑 新しい文化部など、生徒からのニーズがあれば対応するのか。

答弁 部活動の顧問を複数にし、必要に応じて外部人材を活用して対応しているが、現在のところ新しい部活動の要望は出ていない。
委員長 今田 佳男

《民生産業委員会》 10月15日

1) 竹原市プレミアム付商品券事業の進捗状況について

質疑 対象者のうち申請された方の割合が、10月2日現在で32.3パーセントとの報告があったが、申請率が低いのではないか。

答弁 国においても申請勧奨を強化する方針であり、市としても勧奨に取り組んでいく。

対 象	住民税非課税者 3歳半未満子育て世帯主
販 売 期 間	R 1.10.1～R 2.2.29
販 売 場 所	市内の郵便局（簡易郵便局を除く） ゆめタウン竹原・フジ竹原店

2) 竹原市景観計画の策定について

竹原市の魅力ある景観を維持するため、令和2年度に景観計画を策定し、令和3年度には景観条例を制定する方針であるとの説明を受けた。

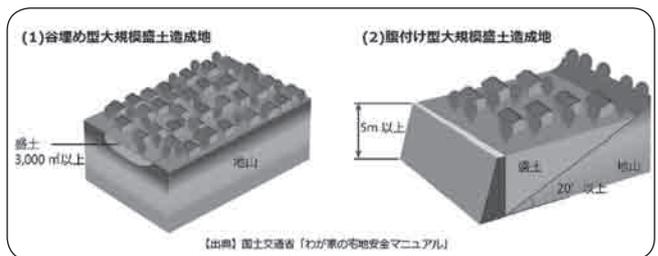
意見 計画の策定に向けた協議を進める関係団体の構成や市民意見の取り入れ方に関して、まちづくりに尽力している既存の団体等の積極的な参画を促すよう要望する。

3) 竹原市大規模盛土造成地マップの作成について

全国的に、谷や沢を埋めた造成地が地震により甚大な被害が発生していることから、竹原市内におけるこうした大規模な盛土造成地をマップ化し、今年度中に公表する予定であるとの報告を受けた。

質疑 マップ化の作業の中で安全性に問題が確認された場合や、造成者がいないケースにおける対応方法等について

答弁 2次スクリーニングとして地質調査等による安全性の確認を行い、その後、防災対策を実施する法の枠組みとなっているが、市としてどうするのか今後、総合的に検討したい。



委員長 竹橋 和彦

私たちが 感じたこと

竹原高等学校



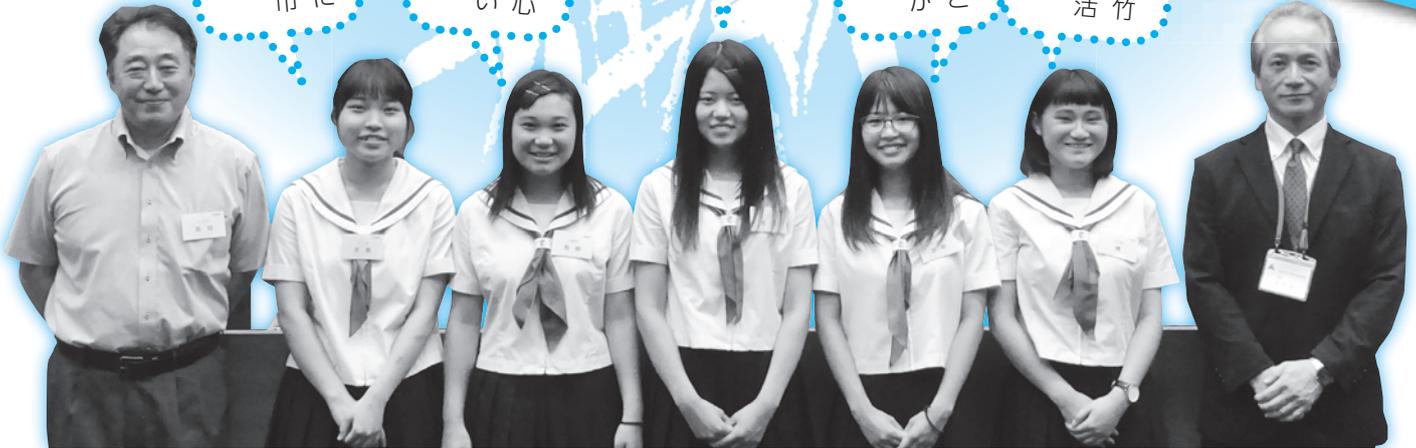
この機会を通して、私自身も竹原の活性化につながるような活動を進めていきたい。

自分の町の良いところ、悪いところ、その改善策を考える事ができた。

竹原をどのように変えていきたいかを話し合い、竹原への関心を更に高めることができた。

これからは、私たち若者が中心となってより良い竹原にしていきたい。

竹原の良いところを多くの人に知ってもらえるように、竹原市民として努力していきたい。



池田先生

手島さん

島崎さん

岩田さん

吉崎さん

橘さん

西村校長

議員の方が説明された「#がんばんろう竹原」にも投稿してみたい。

住む地域によって良いところや悪いところのとりえ方も違うところが実感できた。

大切なことは「協働」。今回の経験を、学校や地域の人に伝えていきたい。

これからの竹原について、私たちの世代が真剣に考えていかなければいけない。

大学では社会的分野を学びたい。興味のある分野に関して見識を深めることができた。



忠海高等学校



長原先生

大下さん

片山さん

岡田さん

本田さん

木谷さん

中津校長

特集

行きたいまち 住みたいまちに

高校生 and

市議会



▲緊張しました

「いろんな立場になって
考えてみたらいいよ」と
アドバイス▼



▲今日はありがとうございました



▲私たちが竹原を変えるぞ!!

今回快く参加してくださった両校の先生方・生徒の皆さん、ありがとうございました。私たちにとって初めての取組でしたが、グループワークでの「竹原の美しい自然を残しながらまちづくりをする」「#で発信していく」など自分たちができることを模索する生徒達の姿に熱意を感じました。今後意見交換会は継続して開催し、率直な意見を聞く取組を行っていききたいと思います。

下垣内 和春



▲ちょっとドキドキ...



▲議場に入るとき・出るときは“一礼”

お知らせ

くわしくは会議録で...

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP

竹原市議会

検索



次回定例会市議会は、12月上旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

時代が動くとき

令和という新しい時代の扉が開かれ半年が過ぎました。「議会だより編集委員会」が「広報広聴委員会」と変わり、竹原市議会として、より幅広く市民の皆さんの声を聴く活動ができるようになりました。一般的でないとと言うと語弊がありますが、議会という組織は合議体であることから、物事を動かす時には、なかなか神経を使うことが多いのが現実です。

今定例会においては「修正動議」が提出され、議案の一部が修正され議案が可決されるという、小さいようで大きな動きもありました。時代は何もしなくとも流れていきますが、自分の意志を持ち行動することで、確実に何かを動かすことができます。竹原市民の皆さま、少しずつ動き始めた竹原市議会にご期待ください。

堀越 賢二

「広報広聴委員」○委員長 ○事務局長
○井上美津子 ○今田 佳男
下垣内和春 堀越 賢二
道法 知江 松本 進